

船橋に備え置いてください！

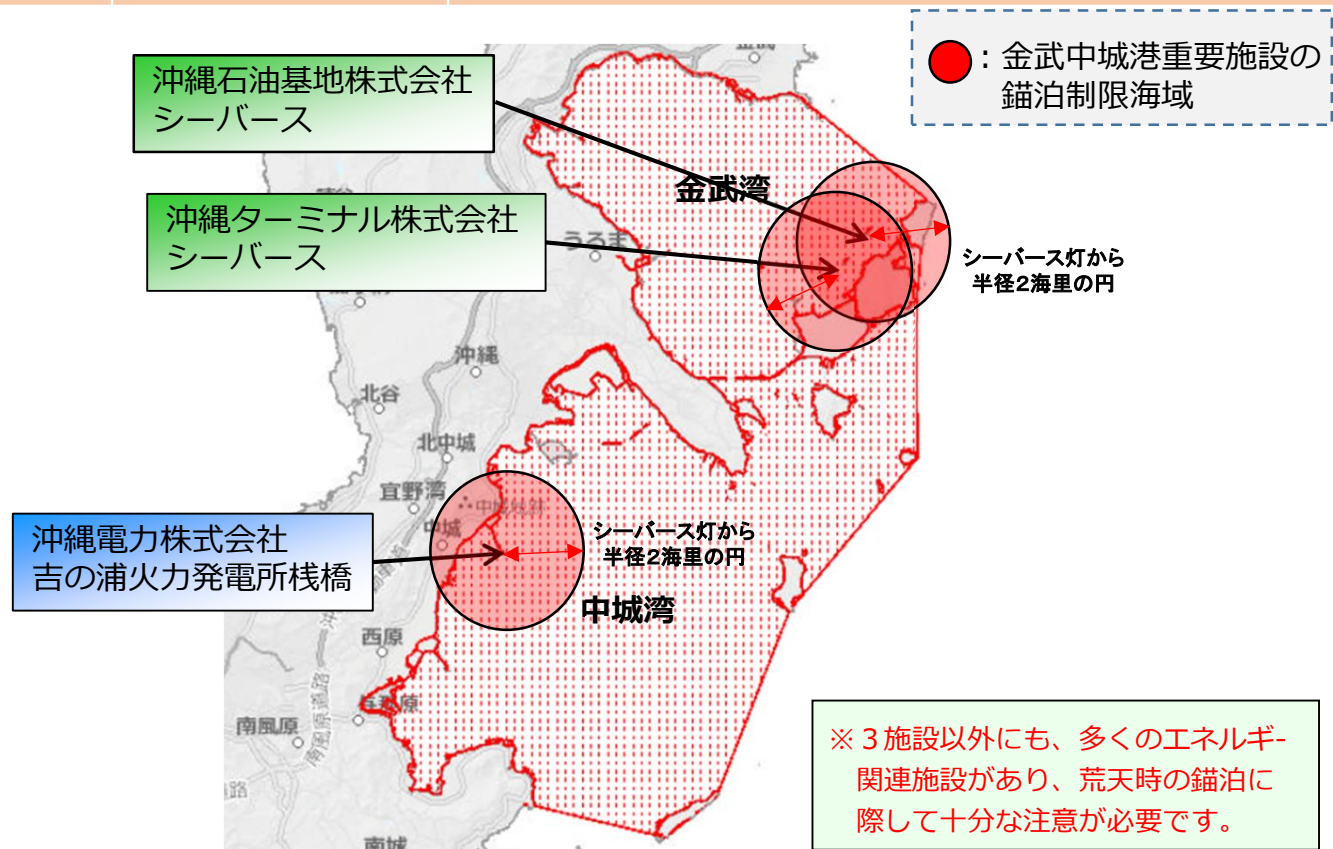
金武中城港の地域的情報（参考）

1. 金武中城港の特性

- ・沖縄県は台風の常襲海域です。特に金武中城港は、周囲に風を遮ることのできる高い山等がなく、また、太平洋に面して大きく開いている等の理由から、台風の影響を受けやすく、避難に適さない海域です。
- ・浅瀬が点在しており、過去には座礁海難も多く発生しております。入出港に際しては、通航路の事前確認と、航行中における見張り及び自船の位置確認の徹底が必要な海域です。

2. 金武中城港の勧告基準

区 分	発 出 時 期	実 施 事 項
第一体制 (警戒体制)	風速25m/s以上の暴風圏が48時間以内に金武中城港に到達すると予想される場合	① 船舶は、台風の動きに留意し、乗組員の待機、機関の準備等、避難できる態勢を整えること。 ② 荷役作業は、直ちに中止できる態勢を整えること。 ③ 小型船舶は、気象状況に応じ、港内の船溜り等の安全な場所に避難すること。 ④ 港内工事作業従事者等は、資器材の流出防止措置等を行い、厳重な警戒体制をとること。
第二体制 (避難勧告)	風速25m/s以上の暴風圏が24時間以内に金武中城港に到達すると予想される場合	① 避難の対象船舶は速やかに離岸(離棧)し、避難すること。 ② 荷役作業を中止し、安全な場所に避難するとともに荒天準備を完了させること。 ③ 重要施設の周辺海域「半径2海里」を錨泊制限海域とするので錨泊しないこと。 ※避難対象船舶は500トン以上。ただし、港内において工事・作業に従事している船舶のうち自力航行が出来ない台船等を除く。



緊急連絡先

：海上保安庁緊急通報用電話番号「118」

避難勧告問い合わせ先：中城海上保安部交通課航行安全係「098-921-1623」

各海域(港)最寄りの海上保安庁の事務所や地方運輸局で配布している走錨事故防ガイドラインとともに、船橋に備え置いてください。

R7.10 作成